

「お内仏」

井上 十蘭

先日春のお彼岸をお迎えするにあたり、ご門徒さんの息子さん宅で入仏式が行われ伺って参りました。入仏式とは、本山からお受けしたご本尊（阿弥陀如来）をこれから我が家の拠り所とし開闢^{かいびやく}する慶びの法要です。言い換えれば、これから阿弥陀さまと一緒に生活をスタートする事を慶ぶ法要だとも言えます。

日曜日でしたので、ご両親・息子さんご夫婦・お孫さんと三代で賑やかにお参り頂きました。お勤め後ご両親が「核家族で息子たちと共に生活はできないが、どんな質素なお内仏でもいいから家にお参りする場所があって欲しいと願っていました。今日こうして息子の家で三代揃ってお参りができた。私たちが今まで過ごしてきたお念仏のある生活を息子や孫に伝えられてとても嬉しい」とお話しいただきました。

お内仏とは死者を祀る場所ではなく、阿弥陀さまを安置する場所であります。ちょっとした事にこだわり、悩み、自分を見失いがちになる私を受け止め離さない、崩れることのない安らぎを与えてくださる阿弥陀さまに出会う場所だと思います。家族揃って阿弥陀さまに手を合わせる事がどれほど心豊かな生活につながるかわかりません。お念仏のある生活を次世代にと願われたご両親、そのバトンをしっかりと受けとっていただいた息子さんご夫婦・お孫さんに頭が下がる思いでお宅を後にしました。